

令和3年9月10日

保護者の皆様

上越市立板倉中学校

校長 藤田賢一郎

2学期の諸行事や教育活動の中止等について

白露の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当校の教育活動にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当校では、8月25日付当校發文書「新学期における新型コロナウイルス感染症対策について（連絡とお願い）」に沿って、感染症予防対策を講じながら、教育活動を進めております。

そこで、現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、2学期実施予定の諸行事や教育活動について、下記の通り、中止や内容の変更を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 中止する教育活動や行事

- ・9月13日（月）・14日（火）実施予定の2年生家庭科調理実習
- ・10月29日（金）実施予定の合唱祭

2 内容を変更する行事

- ・10月7日（木）・8日（金）に予定していた3年生修学旅行
→方面や活動内容、日程を変更し、宿泊を伴わない形で10月8日（金）と14日（木）に実施する予定です。

今後、教育委員会の指示により、更なる変更等もあります。変更する場合は、PTAメール等で早めにお知らせいたします。

担当

教頭 黒田 匠

TEL 78-2013

生徒には、校長から以下のように「合唱祭中止」を伝えました

私が若いころ、学級担任をしていた時の思い出です。お昼休みに、ある生徒が泣いて職員室に来ました。そして「先生、男子が歌ってくれません。もうピアノ伴奏者をやめます」と叫びました。私は「あれ？昼休みは合唱の自主練習をしていたはずだな」と思いながら教室に行くと、数名の生徒が「あんなやつの言うこと聞けるか！俺たちをバカにしやがって」と叫びながら机を蹴倒していました。

その後どうなったか・・・は省略しますが、結果その学級は、合唱祭当日に中学生レベルとは思えない素晴らしい歌声で合唱し、歌い終わったときに大半の生徒が、今度は別の意味の涙を流して感動の渦に包まれました。若手教師であった私は、合唱って音楽的な資質や能力を磨くとともに、簡単には心が一つにならず、たくさんのトラブルや苦労を学級皆で乗り越えていくことによって、学級集団が大きく成長するのだなと実感しました。

その時以来、もちろん校長になってからも、合唱を大切にしてきました。しかし、今年度は、苦渋の決断をしました。

「今年度、実施予定であった板倉中学校合唱祭は、中止とします」

2・3年生は「昨年度はマウスシールド付けて実施できたのに」と思うかもしれません。しかし、変異して感染力が強くなった現在の新型コロナウイルスの感染は、残念ながら、マウスシールドでは防ぐことができないことが分かっています。「もう少しで、収束に向かうのではないか」と思う人もいると思います。しかし、今現在、音楽の授業でも歌うことはできない状況ですから、収束を待っている練習が間に合いません。合唱祭を延期することも、これからの行事や諸活動を考えると困難です。これらのことから、中止を決断しました。

皆さんが、音楽を通して磨く、資質や能力はとても大切なものです。学級の仲間と困難を乗り越えて合唱をつくりあげる喜び、集団として成長する喜び、感動の歌声を家族や地域の方に届ける喜びは、何ものにも代えがたいものです。中止は本当に残念です。しかし、大切な仲間の命、自分の命、家族の命を守ることを優先させましょう。歌唱の代わりに、パソコンやタブレットを活用する音楽の授業に精いっぱい取り組んでください。

そしてもう一つの、「学級皆で困難を乗り越えて合唱を作り上げて、集団として成長できる機会」を合唱祭以外で、昨日決まった、2学期の級長・副級長を中心に各学級や学年で工夫してください。学級活動や学年活動での企画もよいでしょう。日々の当番活動や、一緒に受けている授業の中であってもできるはずです。皆さんの学級には、体育祭で大活躍した人がいますね。合唱でもパートリーダー等で、リーダーシップを発揮するはずだった人がいるはずです。夏休み中に、たくさん時間をかけて、ピアノ伴奏を練習していた人、合唱曲のCDを持ち帰って指揮者としての練習をしていた人がいるはずです。

合唱祭ができなくても、コロナに屈したことにはなりません。しかし、大切な音楽の資質・能力を磨くことができなかつたり、共に困難を乗り越えて成長することができなかつたりしたら屈したことになります。皆さんなら、きっと合唱祭に代わる成長と感動を得ることができると、私は確信しています。コロナに屈しない板中生の姿を見せてください。